

第3回 玉名市まちなか未来デザイン協議会 議事録

(1) 協議会概要

日時	令和7年3月26日(金) 13時30分～16時00分			
場所	玉名市民会館会議棟 第2会議室			
出席者	玉名市都市計画審議会			
	熊本県立大学 教授		柴田 祐	
	九州看護福祉大学 教授		中野 聡太	
	熊本県北広域本部玉名地域振興局土木部長		坂口 誠	
	玉名警察署 交通課長		徳尾 眞成	
	一般社団法人 玉名青年会議所 理事長		横山 大輔	
	九州旅客鉄道株式会社 熊本工務所 所長		山崎 一之	
	産交バス株式会社 玉名営業所 副所長		大草 武美	
	熊本県立 玉名高等学校・玉名高等学校附属中学校 副校長		上村 弘臣	
	学校法人 玉名白梅学園 玉名女子高等学校 校長		上妻 利博	
	玉名町区長会 会長		大廣 吉春	
	玉名町支館 支館長		松尾 孝幸	
	玉名市女性人材リスト登録者		石津 純子	
	玉名市まちなか魅力向上委員会		村田 明彦	
	玉名市まちなか魅力向上委員会		福富 雅仁	
	玉名市まちなか魅力向上委員会		崎山 由美	
	玉名市役所 建設部長		西原 正信	
	事務局等	幹事会		事務局
		建設部首席審議員	平田 道生	秘書課 高本 康夫
		地域振興課長	小山 晃生	企画経営課 松本 雄介
管財課長		二瀬 哲也	内田 圭祐	
商工政策課長		神永 和典	都市整備課 中川 英昭	
都市整備課長		中尾 賢治	野中 武己	
			森田 文子	
			植田 暁人	
			古城 佳代	
			羽山 徳晃	
		大淵 昶亮		
随 行				
欠席者	玉名農業協同組合 代表理事組合長		久保 英広	
	玉名商工会議所 地域経済活性化委員会 委員長		深見 京司	
	玉名金融協会(肥後銀行玉名支店) 会長		佐藤 満	
	一般社団法人 玉名観光協会 会長		丸山 晃範	
	有限会社高瀬合同タクシー 課長		徳永 浩久	
	社会福祉法人 玉名市社会福祉協議会 地域福祉課 課長		徳永 和一	

会 次 第	1 開 会
	2 会長挨拶
	3 議題
	【議第1号】
	「～玉名市まちなかグランドデザイン～まちなか未来図」の策定について(諮問)
	【報告1】
玉名市まちなか未来プロジェクトの進捗について	
【報告2】	
「都市・地域総合交通戦略」の推進について	
4 意見交換	
5 その他	
6 閉 会	

結 果	議題	結果
	議第1号 「～玉名市まちなかグランドデザイン～まちなか未来図」の策定について(諮問)	可決

(2) 議事録

【1 開会】

(玉名市:中川)

只今より第3回玉名市まちなか未来デザイン協議会を開催します。本日、司会進行をいたします、都市整備課の中川です。どうぞよろしくお願いいたします。

会の成立要件としては、協議会規則第3条第2項に、全委員の半数以上と規定しており、本日は22名の委員のうち、15名に出席いただいておりますので本日の協議会は成立します。

次に本日の会は原則公開となっております、傍聴はひまわりテレビ様と熊本日日新聞様がお越しになっております。よろしくお願いいたします。また本日の会議は議事録の作成のため、録音いたします。円滑な会議の運営に皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

本日の資料を確認させていただきます。

・会議次第

・席次表

・資料【議案第1号】玉名市まちなか未来デザイン協議会議案集

【資料1-1】～玉名市まちなかランドデザイン～まちなか未来図

【資料1-2】議事録第2回デザイン協議会意見メモ

【資料1-3】パブリックコメントの結果公表

【資料2-1】まちなかプラットフォーム等の活動報告

【資料2-2】賑わいのまちづくり地域交流活性化事業

【資料3】都市地域交通戦略推進事業

・当日配布資料

～玉名市まちなかランドデザイン～まちなか未来図の概要版案

不足等ございましたら、事務局までお申し出ください。よろしいでしょうか。

では、只今から第3回玉名市まちなか未来デザイン協議会を開催いたします。会議の開催にあたり、柴田会長より一言ご挨拶をよろしくお願いいたします。

【2 会長挨拶】

(柴田会長)

みなさんこんにちは。本当に年度末のお忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。今日、いわゆるこのランドデザインが完成し、一つ次のステップに進むという日だと思います。今日はみなさん前回同様に忌憚のないご意見をいただければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(玉名市:中川)

ありがとうございました。本日は議案が1件、提案が2件ございます。まず議第1号「～玉名市まちなかランドデザイン～まちなか未来図」の策定について。報告1「玉名市まちなか未来プロジェクト」の進捗について。報告2で「都市・地域総合交通戦略」の推進について。以上の3件、議論をお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは早速、会次第3の議題に入りたいと思います。協議会の組織及び運営に関する規則第3条第1項に基づき、この後の議事進行を柴田会長に議長をお願いいたします。

【諮問】

〔「～玉名市まちなかグランドデザイン～まちなか未来図」の策定について〕

(議長:柴田会長)

それでは早速議事に入りたいと思います。まず議第1号「～玉名市まちなかグランドデザイン～まちなか未来図」の策定について、これは諮問ということでございます。まずはこちら事務局の説明をお願いします。

〈議第1号「～玉名市まちなかグランドデザイン～まちなか未来図」説明:都市整備課 植田〉

(議長:柴田会長)

ただいま、ご説明があった通り。協議会に対する諮問ということになっていますので、皆さんに今日ご意見をいただいたうえで、最終的に承認するかということをお話したいと思います。そのうえで、承認されれば市長に対して答申するという段取りです。みなさんからご自由にご意見をいただければと思います。前回の意見としてパブリックコメントをふまえて、このようにまとめられたということです。

私からひとつ、サウンディングについて、どんなものがあるかも含めて説明していただいた方がいいと思います。

(玉名市:植田)

跡地活用分科会を立ち上げる企画経営課から説明します。

(玉名市:松本)

企画経営課の松本と申します。サウンディングというのは、今までは行政主体で跡地などの整備を進めてきましたが、現在は、民間も行政と一緒に、官民連携で進めていくことが大半を占めています。その中で、跡地の活用について、民間のノウハウをお聞きしながら整備を進めていきたいと思っています。その民間事業者さんのご意見をうかがうというのがサウンディングです。その他にも、実際、跡地で試しにやってみるという手法としてトライアルサウンディングも今後実施していければと考えています。以上です。

(議長:柴田会長)

ありがとうございました。要は民間事業者に入ってきてもらいたいので、こんなことがありますが何かできませんか。もしくは儲けることはできますかということも含めて、市場調査もしながら具体的に進めていこうというのがサウンディングという手法。最近のマーケティングのやり方につながっているんですけど、要は行政がやって「はいどうぞ」ではなく、市場調査もしながら民間事業者と一緒にやっていくようにこれから具体的に進めていくことになると思います。その他、みなさんからいかがでしょうか。はい、どうぞ。

(石津委員)

石津です。資料がとても綺麗で見やすいなと思いましたが、もうちょっと資料に対して意見したいと思います。

まちなか未来図の概要版エリアで大きくエリアの地図が載っていて各エリアの説明がありますが、笑顔を増やしたいというなら、もう少しわくわくするような感じにしてもいいのかと。ただ地図を載せてあるより、この大きいエリアの地図を小さくして各エリアをもっと楽しくなるとか、わくわくするような感じにした方が分かりやすいんじゃないかと思います。また、皆さんの声を聞きたいといいますが、一番最後に小さくQRコードが載っているだけなので、もっと前のページやまちづくりをすすめるみんなという箇所に「参加してください！一緒にまちをつくりましょう！」とアピールして、もっと簡単にすぐに声を載せられるようにすると。

玉名市はインスタがあるのかわからないですけど、たとえば、まちづくりのインスタとか。このページがもったいないと感じて、これを読んだ人がすぐにジョインできるような。つながれる何かがあればいいと思いました。

(玉名市:森田)

ありがとうございました。概要版の見え方についてのご意見と思います。

今回、諮問をかけておりますのは、本編を全部デザイン協議会の皆様にご承認いただいて、策定に進んでいきたいと思っております。概要版については、まず本編を策定し、より見やすくということを考えていきますので、いただいたご意見を参考に修正等かけていければと思います。

ちなみに玉名市の場合、Facebook や、LINE や Twitter はあるんですが、どうしても便宜上インスタは作れていないような状況ですので、そこはいろんなツールを使ってアクセスしやすいように考えていこうと思います。

(議長:柴田会長)

ありがとうございます。本編も概要版も、もう少し楽しそうにした方がいいのではという、そういうご意見だと思います。中身の問題というよりもプレゼンの問題。人がより楽しそうにしていなきやいけないというのはおっしゃる通りだと思います。

(坂口委員)

今回この公表された未来図というのが、いつごろ実現するのか、ちゃんとすすんでるのかが、一番興味がでてくると思うので、色々と進捗状況をみせていくのが非常に大事かと思っております。先ほど資料の中に QR コードがあるので、ここで進捗がいつでも、どういう段階まで進んでいるのか見れるということでしょうか。

(玉名市:植田)

ありがとうございます。市のホームページを随時更新することで透明性は確保していきたいと考えています。同時に note という新しい活用を試みているところです。やはり透明性の確保について非常に重要と認識しておりますので、よりよい活動内容について検討していきたいです。

(玉名市:森田)

補足です。当然、行政としては、そういった場合や、そういうやり方で報告をしていくわけですが、今、魅力向上委員会やデザイン協議会で、このプロジェクトに絡んでいろんな活動で参加されたり、会議体に参加している方がいらっしゃると思います。そういった、それぞれの委員の皆様様の活動をそれぞれの SNS や、そういう自分たちのグループの方たちに繋いでいただくと、人が人を呼ぶではないですが、やっぱり行政だけが動いているということではなく、市民の皆さんが関わって、そこで動いてる。そこで発信をしていく。ということが、盛り上がりや、人の繋がりになってくると思いますので、そういった意味でも皆様方にご協力をいただければと思います。

(坂口委員)

ありがとうございます。情報の更新は頻繁にあった方がいいと思います。先ほどパブコメの中にありましたが、スピード感がないという意見もあったので、少しでも新しいものがあれば発信していくと、みなさん安心されるのかなと思います。それと、住民の方と参加して作り上げてやっていくということが大事ですので、是非見せてみなさん参加してくださいと呼びかけ、働きかけられればと思います。

(議長:柴田会長)

ありがとうございます。みなさん、市民に知っていただけることが、良いと思います。

(石津委員)

パブリックコメントのところで、大きい計画で 10 年や 20 年かけてやられるということだったんですが、そしたらうちの娘も高校生になってしまいますし、私はもう 20 年経ったら 60 歳になってしまいます。死んでしまう方もいるかもしれないです。本当にパブリックコメントにあるように、今の人たちが体感できるくらいに頑張してほしいと思います。

(議長:柴田会長)

今このご意見で重要なのは、来年度、具体的に社会実験をやっていくことになると思いますが、どのあたりをやろうという話があるんですか。

(玉名市:森田)

今、県の補助の申請中なので、その確認もありますが、高瀬の道路です。新玉名駅から県道立花線を整備していますが、この供用開始が始まって、高瀬の本町通りが県道から市道にいずれ格下げになる見込みです。そこを高瀬の皆さんとどんな道がいいか話し合いの場を設けているところです。ですので来年度、技術的なことですが、高瀬の通りを少し車が通るところを狭くして歩行空間を広くする社会実験を試しにやってみたらどうなるだろうかと、市としては考えているところです。

その他、魅力向上委員会の方達のご意見を聞きながら、できるところから何か試しにやってみるということができればと思っております。

(議長:柴田会長)

ありがとうございます。やっぱり、具体的に現場が動くということが、とても重要だと思います。

先ほどスピード感ということがありましたが、事実、地震の復興の時も、スピード感がという話の実はあったんです。その時に、ある先生が「スピード感であって、スピードではない。スピード感なので、ゆっくりでもいいから何か常に動いている状況があればいい。みんな何かやっているというスピード感、進んでいるということを感じることができる。必ずしも早くやるのが、全て良いことではない。」とおっしゃっている先生がいらっしゃって、なるほどなと思ったんです。

ただ、その社会実験がどのようなトライアンドエラーをしていくかがとても重要ですので、来年度、具体的なアクションプログラムを確かにつくっていくということなんですが、つくりつつ、実際にやれることはやっていくということがとても重要だと思います。そこで、なるほどこういうことをしているのか、できるのか、ということを市民が理解できると思います。今、石津さんがおっしゃったことはとても重要だと思います。是非、そこを実践していく。もしくは市民側の皆さんも是非協力していただきたいと思います。その他いかがでしょうか。

(中野委員)

パブリックコメントについて、午前中に都市計画審議会があったんですけども、そこでもまちの中心だけではなく、市全体の方がみるものなので、そこに期待感を感じるのではないかというご意見がありました。その中で岱明とか横島とか、ちょっと高齢化が進んでいるところに対しては、それこそスピード感より、スピードの方が大事になってくるのかなと思います。たとえば移動手段だったり、買物ができるような状況や、そもそも何が困っているかということをお自身も知らないのと、そういった意見を受けられるような、次年度からアクションを早めにやっていくといいのではという意見もあります。

(議長:柴田会長)

ありがとうございます。概要版の一番最初のところに中心部から周辺に広がっていくという図がありますけど、やはりこの中野先生の最後のご意見は、市民の方、皆さん感じる事だと思っております。できることについてはスピードをもってやった方がいいのではというご意見もありました。その他いかがでしょうか。

(中野委員)

魅力向上委員会の方にちょっとお聞きしたいんですが、九看大の学生もできるだけ参加してもらえるようにと色々宣伝はしているんですけども、なかなか、腰が重いというか、難しいところもあります。いろんなことやプログラムを実行していくには、マンパワーがいると思うんですが、一人当たりの負担はどうなのかと思うところもあって、元々どれくらい増やしたいのか、そういうこともありますか。

(議長:柴田会長)

マンパワーについてですね。

(村田委員)

魅力向上委員会の村田と申します。先生がおっしゃったように、当然、魅力向上委員会は大体コアメンバーが4人ぐらいで、他にも10何人か。あと、玉名市職員の方も個人的に、仕事としてではなく参加して下さってる方も10人以上いるんですけども、今年度は、今回策定にすごくマンパワーを使っていますので、大変だったなという印象なんです。これから市民の皆さんに、これを共有するにあたって考えていることは、まちづくりをしているとか、玉名市のためにやっていると、そういうイメージでは動かなくてよくしたいと思っています。自分が楽しいから参加するとか、そういうプログラムをアクションプログラムとして作りながら、その延長線上に大好きな玉名が育っていき、自分も大好きな玉名になる、それがひいては玉名市のためになる。そういうアクションプログラムの作り方をしたいと思っています。ですので、九看大の学生の方も「なにかイベント楽しいのやってみたいよ？行ってみたいな」と思うようにやりたいと思っていますので、是非そのように宣伝していただければと思っています。

その延長がアクションプログラムというか、グランドデザインにつながるという建付けをみんなでしょうかと感じます。人数は多ければ多いほどよくて、50人ぐらいでみんなで動くとか、そういうイベントもあっていいと思いますし、今、玉名市の森田さんが言われたように社会実験的なものも当然あっていいと思いますし。そういうふうに行行政の社会実験があったり、あとは全然楽しそうな社会実験というのが、織り交ざっているような雰囲気の中で仲間づくりができていくのが一番理想と話しているところです。ありがとうございました。

(議長:柴田会長)

ありがとうございます。今おっしゃった独自目線。自分が楽しいから参加して、結果的に玉名がよくなっていくんですね。私もそこは大賛成です。是非そのように輪が広がっていけばいいと思っています。あ、県立大学の学生とも…参加してもらおうこともあると思いますので、よろしく願います。その他いかがでしょうか。

(大草委員)

産交バスです。先ほどまちづくりの話がありまして、高校生、玉名高校、北稜高校などありますけれども、たとえば何かに参加したりとか、まちづくりに興味のある生徒がおられれば、そのような集まりに参加して、じゃあ今の高校生はこうしたいみたいとか、なにがあればいいとか、私としては何時のバスがいいのかとか。そういう声が聞ければと思います。また玉名駅にこういうのがあればいいとか混ぜていただき、少しでもお話ししたいと思います。

(議長:柴田会長)

ありがとうございます。とても重要な話です。いかがですか。

(上村委員)

はい、玉名高校の上村です。高校生も、玉名に住んでる、通ってる玉名を盛り上げたいと考えている生徒が数多くいると思います。このグランドデザインが本年度できるということですので、次年度の生徒にこういう概要版などを提示して、6つのエリアに分かれて、今後盛り上げていこうという取組みが行われているということ、先生たちと共有しながら、生徒たちにも自主的にやる子たちも多いので、是非参加をしてみようという方々としていければと思っています。

(議長:柴田会長)

是非よろしく願います。女子高の先生いかがでしょうか。

(上妻委員)

今、総合的な探求の時間というのがありますので、そういうのを使ったり、私は是非したいですね。高校生の意見はあんまり財源のことは考えないで、イメージだったり、「これがあればいいよね、こうしたいよね」というんですが、それを大人がどうくみ取っていくかということがとても重要だと思います。玉名女子高ではこういう意見を言う機会に参加させたいと思います。

(議長:柴田会長)

ありがとうございます。是非よろしく願います。その他いかがでしょうか。

青年会議所の横山会長。いかがでしょうか。

(横山委員)

玉名青年会議所の横山といいます。このデザイン協議会の議題で、そもそも高校生や大学生や、若い子たちがまちづくりに興味があり協力してくれることは、すごくいいことと思います。玉名青年会議所も、20歳～40歳までの団体ということで、活動は玉名市の地域を盛り上げるためにやっています。僕たちもいろんなことを計画しながらやっていますので、是非青年会議所のメンバーもここに協力をさせていただいて、まちづくりにしっかりと注力していきたいと思っています。まちづくりで事業されるかたは是非会員にもなっていただきたいと思っています。

(議長:柴田会長)

ありがとうございます。是非、非常にパワーがありますので参加していただければと思います。その他、いかがでしょうか。

(上妻委員)

このグランドデザインの概要版や内容についてではありません。本当に頭が下がります。言う方は勝手なことを言ったのに、よくこれだけきちんとされていて、大変なことだと思います。ありがとうございます。

私が申し上げるのは、この後、もちろんだの企画もどの機関もですが、絵に描いた餅にならないようにというような発想はもちろん誰にもあります。そこでなんらかの達成を判断する指標を作って、この指標、目標、現状はこれくらいだから、あと5年後くらいにはこれくらいというような目標がおおむね達成できているというようになるのでしょうか。

聞いた私が言うのもなんですが、無理な気がするんです。なぜ聞いたかという、グランドデザインでありながら、行政と市民がイメージを共有する必要があるからこそ、かなり具体的な文言やイラストがあるんです。たとえば玉名駅エリアは、18 ページ、19 ページを見ると、駅前広場のイベントの空間があって、上の文言には若者向けのスポーツができるオープンスペース。これが、私は5年後に達成できていなくてもいいかなと実は思っています。ただ、こういうことを書くことによってイメージが共有されますので、たとえば玉名女子高校がクラスマッチを玉名駅前のスペースを借りて、「体育館でするよりここでしょうか！」と、そして帰りに歩いて、「君たちも意外と玉名のまちを歩いたことなかったろ？」とか。ここに書いてあると、そういうイメージをする人がいると思うんです。書いた以上何か言う人がいるのかとか。これすごく書きぶりがいいこといつてるけど、全然イベントなんかやってないじゃないですかとか。

面白いなと思ったのは23 ページの菊池川のアクティビティで、何かイラストがヨットかなにか船をこいでいるのがあります。私は今、菊池川でこういったアクティビティがあっているのか知りませんが、いろんなものをイラストを加えて、菊池川のアクティビティと具体的に書いてありますね。もしそれが全く5年間なければ、かっこいいこと言っているけど全然やってないよねとなるのか、それとも指標を作って、イベントを何回やったのでおおむね達成とか、今後何年かでこうしていきましようとか。たとえば25 ページ、立願寺公園のイラストが載っていて、私は、足湯にたまに行きますが、良い空間だな、何かできそうな空間だなと思うんです。実際、高校生が水鉄砲イベントをしたらいいじゃないですか。できるんですかね？水鉄砲に金魚すくいの金魚をすくう薄い紙が張ってあるポイを頭につけて水鉄砲で打ち合い、ポイが破れたら負けというのをやって、もう10年続いているどこか自治体があって面白いなと思って。その言い出しっぺが高校生だそうです。ポイも金魚の盛んなところで、玉名だったら長洲がありますので。この立願寺温泉のイメージがあって、イベント等を実施すると書いてある時に、実際イベントあつてますけども、現状は月2回開催しているのを今後5年間で、月5回開催するのを目標とするような指標をつくって、このグランドデザインがかなり具体的に進んでいるよねというようなことをする予定があるのでしょうか。

(議長:柴田会長)

これは行政から色々聞きたいんですが、いかがでしょうか。

(玉名市:森田)

ご意見ありがとうございます。確かに達成ですので、未来図を描くところの達成の目安を記載しているんですけど、小規模ですが、駅前でも川でもアクティビティのイベントも含めてですけれども、実際、民間団体でやっているところがあります。この絵のようにアクティブにやるとか、こういう駅前に芝生広場をつくってそこでイベントをやるといような、ステージまで作るのには時間がかかるかもしれませんが、さっきの社会実験の話にもありましたが、今やれる範囲で小規模でもやるとか、こんなことができるんじゃないかということを、民間側も市側もやってみるということを重ねていくことで、それが見えるということに繋がって、まちの人たちもそこがそういう場所になっていくということが実感に繋がっていくと思います。

先ほど最初におっしゃった指標というのは、アクションプログラムの中でもつくっていくかたちになると思います。そういう実現に向かっているかどうかというのは、今現在も進行していることでもありますし、また次年度以降も市民側も行政側もできるところから取り組んでいきたいと思っています。

(玉名市:植田)

すみません補足で。今ありましたアクションプログラムの中で、いわゆるKPIといって、成果目標を数値化したものをつくりたいと動いているところです。来年のアクションプログラム策定に向けては動いているところではありますが、そういったかたちで皆さんにお示しできる、数値化した目標というものを出していきたいと考えています。何を数値化するか、先生がおっしゃったようにイベントの回数を計算するとか、今から審議するところですがつくっていききたいと考えています。

(玉名市:森田)

補足で。こういうことをしたいという具体的な取り組み事例だったり、イラストで描いたものだったり、行政基盤としてつくっていききたい等あります。これはひとつの成果となるかもしれませんが、最終的な成果は「みんなで作ろう！幸せ実感大好きたまな」という、みんな玉名が大好きという、そこで幸せが実感できるまちなかが最終目標になりますので、そこに向かう色々な取り組み、ハード整備だったりソフト事業だったりあるかもしれませんが、その達成関係をそれぞれ重ねながら最終的にこの合言葉にあるような玉名のまちなかができていくことが、最終目標と思っています。

(上妻委員)

ありがとうございました。

(議長:柴田会長)

ありがとうございます。魅力向上委員会で議論するときに、みなさんとイメージを共有していかなければいけないと思うんですが、もちろん目指しますが、KPIを決めて日夜やっていくというイメージではないと思うんです。そのあたりを、どういうイメージでまとめていこうと何か議論したり、またはその経緯はありましたでしょうか。どうでしょうか。みなさん理解できたんでしょうか。

(福富委員)

魅力向上委員会の福富と申します。今まで会議をやって、特に今日資料にありました駅前の社会実験もそうなんですが、こういったのをやってみて、こういうのも楽しいんじゃないだろうかという意見が上がってくると、じゃあやってみようかというかたちで昨年度はやってきました。たとえば今年度、委員会で諮っていくとは思いますが、先ほどありました高校生の話だったり、特にこちらの委員会自身が各課の補助隊というかたちで、また協議会も入ってくるということで、たとえば地域振興課さんが高校サミットなどいろんなところとの繋がりをもつ取り組みをしていると思います。そういうところとのコラボレーションとか。たとえば高校生がこういうことをしたい。じゃあこれを

やってみようかという、みんなで作っていけるような委員会になれたらと思います。また青年会議所の方がおっしゃったように玉名市には各地域団体や青年団体があると思います。そういう色々な方々と話をしながら色々なところに情報発信をして、こういったところでこういったことをしてみようかどうか。ならそれに参加できるものを集めるというようなキー局というかたちになれたら、もっと楽しく交流に繋がるのかと思っております。

別件ですが、先日、玉名町小学校で卒業式がありまして、子どもたちに楽しく卒業してほしいということで、地域の方にお声がけをさせていただきました。その中で、玉名女子高校の生徒の方々も20名近く来ていただきました。また地域の方もいて、そういった地域の方々がみんなで祝ってくれたことを目の前で見られるというのは、子どもたちにとってみれば、楽しい仲間というのが実感できたという実例なのかなと思っております。今後そういったものも委員会で発表したりきっかけづくりに繋がればと思っております。

(村田委員)

すみません、補足ではないんですが。魅力向上委員会で心がけているのは、行政的にまちを作っているというような目標設定はあまりしないように心がけています。先ほど触れましたが、楽しいイメージでやっていきたいという事の方が、印象として強いんじゃないかと思っています。

それと、もうひとつ心がけているのは、個人的な思いも強いのかもかもしれませんが、行政がイベントをやるべきじゃないと思ってまして。イベントをやるのは民間側がやれば良いと思っていて。その環境を整備して下さるのが行政だと思っていますし、僕はそうやっていくべきだと考えています。まちを動かすのは基本的には民間が動かして、そのお膳立てやバックアップを行政がしてくださるという建付けの方が、市としてランドデザインを実現するには一番近い方向になっていくと思います。つまりハード整備は行政の方である程度していただく必要があるかと思うんですが、その中で行われる色々なものは基本的には民間が動いていった方がこれからの人口減少社会においては一番いいだろうというところがあり、来年度のアクションプログラムに関しても、そのようになるべく民間で取り組むようなイベント等、もし魅力向上委員会でしたらそうするべきだと思いますし、社会実験は当然行政が入っていかないといけないと思いますが。そういうふう考えた人たちがどんどん増えてくるのが玉名市の活気や賑わいをつくっていく一番の方法かなと考えているところがあり、そのようになんでもしていった方がいいと考えているところはあります。

(議長:柴田会長)

ありがとうございました。みんなが共有する未来にはこの絵というのにも必要だろうし、おっしゃったように行政だけだとしても、それが逆だけだとしてもこれが必要だと思うし、両面からの働きがある。そして最後に村田さんがおっしゃったようなかたちで進む方が、私も理想的ですが、非常に世の中の壁を感じ、そのためのまずスタートだと思いました。だからこれ決まってるようで決まってない。そこが従来と違う所だと思うんです。それは行政側も市民側もお互い理解しないとイケません。これが書いてあるけどできてないんじゃないかと市民がいうのもちょっとおかしくて。じゃあみんなと一緒にやりませんか？という話になると思います。ありがとうございました。

そして指標の話は、別のところでおもしろかったのを聞きました。ここの空間のイメージを評価するっていうエリアの指標がある。聞いたのは、ここでプロポーズをしたカップルの数を指標にしよう。それをどう計るのかというのは難しいですし、数をどうカウントするのか難しいですけど。単なる交通量とかではなく、ここのこういう空間を計れるものでやっぱり考えないとイケないっておっしゃってる記事が、長野ですね。そういうカウントの仕方、評価の仕方も含めて指標はもう少し工夫が必要だと思いますので、ここは是非高校生に良い感じのフォローをしてもらって、そういうのも含めて考えるて指標ができるといいのかなと来年に向けて思いました。その他いかがでしょうか。非常に良い意見が集まってきていて、来年に向けて。

(中野委員)

九看大中野です。これまでの議論を聞いていると、愛着や安心などのキーワードが出てくると思うんですが、

僕たち大学の学生は市外からくる方、市内に元々住んでいる方、大学に入ったときに移られる方、色々いらっしゃいます。午前中、柴田先生から、「大学の学生さん、玉名で遊んでいますか？」という質問いただいて、「まあ、それもまちまちです」という回答をさせていただきました。遠方の方は、もう忙しいんでとにかく帰るという、あまり玉名を知らない状況があると思います。高校もたくさんありますし、大学もあるので、議論もよく聞くんですけど。そういう若い力を活性化するという観点からいくと、どれくらい玉名に楽しさがあるかというアンケートは学校という枠があると、結構アンケート調査しやすい、集まりやすいと思います。そういう人たちに対する調査なども次年度、最初の段階でやらないとおそらくできないので、そのような楽しさやそういったものを考慮しながら、何かしらのアンケート調査をやるといいと感じました。

(議長:柴田会長)

ありがとうございます。その他いかがでしょうか。結構みなさんから意見も出てあつという間の時間でしたね。

先ほど冒頭申し上げた通り、今日諮問して、それに対して回答しないといけないんですけども、ご意見としては、概要版についてもう少し楽しい雰囲気を出してほしいというご意見がありました。そこ概要版での対応ということで、それ以外に、特にご意見はなかったと思いますので、そろそろ最終的に諮りをしたいと思いますが、いかがでしょうか。

議第1号です。「～玉名市まちなかランドデザイン～まちなか未来図」について、一部ご意見いただいておりますが基本的にはこの提案通り承認ということにして、市長に対して答申したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。異議がないとさせていただきます。

それでは、原案ということで市長に答申したいと思います。ありがとうございました。次が、報告です。まずは報告1ということで、「まちなか未来プロジェクト進捗について」の報告です。では説明よろしくお願ひします。

【報告1】

[玉名市まちなか未来プロジェクトの進捗について]

〈まちなか未来プロジェクト進捗について説明:都市整備課森田・古城〉

(玉名市:森田)

資料2-1の表の「玉名市まちなかプラットフォームの活動報告」といって、前回お示したものに追記したものです。(以下説明)続いて資料2-2についてご説明します。

(玉名市:古城)

私からは、「まちなか未来プロジェクト賑わいのまちづくり地域交流活性化支援業務」についてご説明いたします。(以下説明)

(議長:柴田会長)

ありがとうございました。今年度の取組みについて質問等あればと思いますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

いずれにしても、特にまちなか魅力向上委員会のみなさんには非常に議論をしていただき、ありがとうございました。引き続き、大変だと思ひますが、仲間を増やしつやつやしていただければと思ひます。よろしいでしょうか。ありがとうございました。

では、引き続きよろしくお願ひいたします。次、最後の報告2になりまして、都市地域交通戦略推進について、こちらの説明をよろしくお願ひいたします。

【報告2】

〔「都市・地域総合交通戦略」の推進について〕

〔「都市・地域総合交通戦略」の推進について説明：都市整備課中川〕

(玉名市：中川)

都市整備課の中川でございます。(以下説明)

(議長：柴田会長)

ありがとうございました。特に駅のところの道をどうするかについて、まだ検討中で事業費もでていない状況ですが、共有ということで説明いただきました。何かご質問等あればと思いますが、いかがでしょうか。

多分、まちなかにいる人も、結構変化がある人はいると思うんですが、実際問題、市民としてどうでしょうか。

(石津委員)

まちなかを歩いたりということがメインだったので、出来る限り交通事故が起こらないように歩行者の方が安心して歩けるように。あと、高齢者の方は道の真ん中を走るの、車幅をしっかり広げたり、高齢者の方も安心して運転できるような安全なつくりにして、スピードをだせないようなかたちでつくる方がいいのではないかと思います。

(議長：柴田会長)

どうなるか全くわからないですけど、ここの協議会としてはまちなかランドデザインに良い方向に働くといいなということです。そのためにはどうしたらいいか。つくり方とともに使い方を含めて。

午前中にした都市計画審議会では、道ができると道沿いに、当然、商業や事業をされます。当然、そこをうまく誘導やコントロールしていくということが、まちなかでも必要と思います。いずれかなり大きい話としてなってくるかもしれません。はい、よろしいでしょうか。

(大草委員)

産交バスです。この資料を見てすばらしいと思いました。これだけある程度の方向性といえますか、ここまで考えておられる。検討がすすんでいると思いました。先ほどありました安全にということで、今現状も玉名駅のバス停を使わせていただいて運営していますが、バスの動線やタクシーの動線、歩行者の動線、そういうことを検討いただいて。また、今日ありましたが、玉名駅は貸し切りバスがどういう位置付けかという話がありました。よかったらこれも含めて機能的に、我々はバスですが、タクシーや歩行者もある程度安全な動線をご検討のうえ駅前を検討いただけたらと思います。

(議長：柴田会長)

ありがとうございます。せっかくですので、何かひと言。

(山崎委員)

JR九州です。やはり立体交差を市民の皆さんは、鉄道も含めて一番安全な設備ではと思います。鉄道がまちを分断されると言われますが、やっぱりこのような立体交差をすると、まちが立体的につかえるなどありますので進めていただければと思います。我々も協力させていただきます。よろしく申し上げます。

(議長：柴田会長)

ありがとうございます。その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは次第につきましては以上です。何か全体を通して言い残したこととかあれば。

(松尾委員)

今、小島橋から下りてきて切れています。それをずっと立体交差で流れていくのを考えてもらいたいです。小

島橋を下りて駅裏につくくらいの道幅しかないわけですから、それを駅の裏にいてもいいし、駅の表の方に出られたら、良い構想になるのではないかと。小島橋から天水の方などへ越えていく方がいいと思います。

(玉名市:中川)

はい、今検討しているところ、JA玉名の前に南側の交差点があります。あそこからつけるというかたちで、検討しています。

(議長:柴田会長)

どういことですか？もう少し手前から高架にしてもいいのではというご意見だったと。

(玉名市:中川)

測量についても小島橋の方から測っておりますので、そちらから緩く上がっていくような計画でつくっていきたいと思います。ありがとうございます。

(議長:柴田会長)

ありがとうございます。その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それではみなさん、本日も非常に活発にご意見をいただきましてありがとうございました。議事は以上ですので、事務局にお返しします。ありがとうございました。

(玉名市:中川)

柴田会長、ありがとうございました。ただいま事務局より全ての説明を行いました。今、意見交換も終わったということでよろしいでしょうか。

(議長:柴田会長)

はい

[その他]

(玉名市:中川)

ありがとうございます。では、意見交換も終わりということで、その他にまいりたいと思います。

会次第5「その他」につきましては、本日、グランドデザインまちなか未来図の策定について、デザイン協議会より答申の運びとなりましたので、これまで委員の皆様のご尽力に感謝しまして、藏原市長からは是非お礼の申し出がありましたので、お時間を頂きたいと存じます。では、藏原市長よろしくお願ひします。

(市長)

改めましてこんにちは。玉名市長の藏原でございます。今日は「～玉名市まちなかグランドデザイン～まちなか未来図」の策定に、デザイン協議会が入っておりますことで、これまで3回会議をしていただきました。本当に皆様にはお世話になりました。ありがとうございました。また、プラットフォームを構成しております魅力向上委員会もあわせまして、一年間に30回以上協議・話し合いを重ねていただいたと思います。そのたびごとに皆様方に貴重なご意見を賜りまして、この場をお借りして感謝を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

今ここで玉名市において、なぜグランドデザイン策定をしているのかということについて、お話をさせていただきたいと思います。以前から心配を叫ばれてきた2020年問題。これに今年突入しました。どういうことか皆様ご承知かと思いますが、団塊の世代の方々が後期高齢者世代に入るといこと、これから超高齢化社会が大々的に進展していくという状況にあります。これは、向こう10年から12年間、後期高齢者の人口が爆増していく時期に入っていきます。そういった中で玉名市としても、人口減少問題、少子高齢化問題に取り組んでいるわけですが、以前は400～500名年間に生まれてきた赤ちゃんが、今はもう300名くらいになってしまいました。未婚晩婚問題もありますけれども、やはり分母となる世代の方々が根本的に少ないという問題もありますので、まちなか人口減少問題に歯止めをきかせることが難しい時代に入ってきました。といいますのも、今度は高齢者はどん

どん多くなっています。残念ながらお亡くなりになる高齢者の方が非常に増えておりまして、ここ2、3年は年間に1,000人を越える方々がお亡くなりになるという時代に突入しました。差し引くと、自然減700名です。たとえば地域振興課や企画企画経営課で定住移住の施策を進めて、一年間玉名市に定住移住で100名の方に来ていただいて、すごい成果が上がりました！と言っても、差し引きで自然減700名ですから、やっぱり減少の600名となります。

だからこそ、人口減少に歯止めをかけるのは非常に難しい。でも少しでも緩やかにしながら人口が減っても市民の皆様が笑顔で幸せに快適に暮らしていける、そういった地域をつくらないといけない。そういう思いで今こそグランドデザインを描いて、都市機能を高め、人口が減ったとしても市民の皆様が快適に日々の暮らしをおくれるような取組みを今から進めていかなければならない。これが最終の時期であるということで、途中進んでいた旧庁舎跡地も整備をいったん止め、全体のグランドデザインとして、例えば役所で色んなことを進める時に、それを建て替えるならそのことだけにしかならないんです。だから、そこをいったん立ち止まって、まち全体のグランドデザインを描くということで進めさせていただく。そこで今回まちなかグランドデザインの策定をしていただきました。皆さんのご意見いただいたものがしっかり反映しているものと思います。

そしてこのまちなか未来図が、これから未来にむけて、玉名市の10年20年30年、50年にむけて、皆様によりいただいた羅針盤になります。これをなんとしてでも実現していくために市としても、職員ともども頑張っていくと思っておりますが、いかんせん官民連携で、市民の皆様方、民間の皆様方のお力に頼らなければ、両輪で回していかなければ、なかなか実現することができません。ですので、今回皆様方にたくさんのご意見をいただき、ご支援をいただき、ご協力いただきましたが、今後は、この計画書の実現のため、また皆様方にご支援とご理解とご協力お願い申し上げたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

本当に令和5年度からたたき台の時に、庁内のプロジェクトチームの中で実に入れ替わり立ち代わり500名の職員たちが関わってくれました。こういったことは今まで一度もなかったと思います。そのまちなか未来図を今回策定できましたこと、本当に皆様に心から感謝申し上げます、お礼の言葉とさせていただきます。本当に皆さんありがとうございました。

〔閉会〕

(玉名市:中川)

藏原市長、ありがとうございました。さて、本日は議題3点について、ご審議頂き、誠にありがとうございました。新年度の開催につきましては改めてご連絡さしあげたいと思います。では、これを持ちまして、第3回玉名市まちなか未来デザイン協議会を閉会いたします。本日は、誠にありがとうございました。